

## ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2003年6月10日

2003年6月8日現在：

6月8日に終わる1週間には散発的な降雨があり、農作業（主に薬剤散布）が中断し平均農作業日数は、4.4日であった。平均気温は各地で平年を3～8度F下回った。降水量は地区により差があったものの、1週間の降雨量は0.35～0.80インチであった。土壌水分は前週に続き、過去5年平均より良い状態を保った。硬質春小麦の播種は6月1日までに全州にて完了し、6月8日現在93%の圃場にて出芽し（昨年同期及び平年：90%）、11%の小麦が節間伸長期に入った。平年より多少早い進捗である。デュラム小麦の播種は96%にて終了し（昨年：94%、平年同期：80%）、80%の圃場にて出芽した。現在の処、硬質春小麦並びにデュラム小麦の作柄は悪くないが、今後の順調な栄養成長の為に、気温の上昇が望まれている。

土壌水分：

Topsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	0	6	81	13
Last week (%)	2	9	80	9
Last year (%)	13	20	55	12
Average (%)	8	16	65	11

Subsoil

This week (%)	4	13	71	12
Last week (%)	4	12	74	10
Last year (%)	6	22	67	5
Average (%)	5	14	70	11

Average: 1998～2002年平均

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-year avg.
Durum				
Planted (%)	96	88	94	93
Emerged (%)	80	63	78	80
Jointing (%)	11	6	3	9
HRS wheat				
Emerged (%)	93	83	90	90
Jointing (%)	25	12	18	27

Source: North Dakota Agricultural Statistics Service

当該作柄レポートへのご質問・ご意見は下記宛てにお願い致します。

小川正晃: E-mail [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)